

第 5 回全国高専同窓会連合会総会議事録

日 時：2023 年（令和 5 年）11 月 25 日（土）15：00～17：00

場 所：東京 両国ビューホテル

参加者：18 高専同窓会 （内オブザーバー参加 7 高専）

来賓 国立高専機構（谷口理事長を含む 2 名）

参加人数 32 名

総合司会：事務局長・佐世保高専同窓会幹事 朝永

1, 開会挨拶

開会に当たり総合司会の連合会事務局長・朝永より挨拶

2, 参加同窓会紹介

朝永より来賓の紹介 参加同窓会と出席者の紹介 並びに新型コロナ感染による欠席者と今回個人参加となった富山高専本郷キャンパス石山氏及び富山高専 1 名の紹介

3, 会長挨拶

連合会会長・旭川高専同窓会顧問村上氏より来賓への謝辞と新型コロナによる 4 年間の活動がブランクとなったことから今回の総会を再出発の会とするために活発な意見交換を期待する旨の挨拶

4, 来賓挨拶

来賓の高専機構・谷口理事長からご挨拶を頂いた。理事長はこの 4 年間の社会情勢の変化を踏まえて、文科省を始め政界や産業界の高専に対する認識が格段に改善され、高専への期待が増すとともに支援の機運も強くなっている。この機会を逃すことなく高専が更に発展していくために何が必要か、どうあるべきかについて各高専自体の前向きな思索と行動が求められている。そのためには各同窓会及び卒業生からの母校への提言や支援が必要だと考えている。その意味でも各同窓会の集まりである全国高専同窓会連合会の活動は今後重要になる。このような趣旨の熱意のこもった発言を頂いた。

5, 議事

① 活動報告

事務局長・朝永

- ・コロナ禍による行動制限などにより 4 年間ほとんど活動ができなかった。事務局の怠慢と言わざるを得ないが、当初、高専機構との意見交換会や関東地区の

加盟同窓会会員による集会を事務局として企画したが実現できなかったのは申し訳なかった。

- ・高専人会集会へ参加した。事務局内でメールによる協議の結果、連合会としての参加はその趣旨からも控えることとし、朝永個人の立場で参加したが、会合では連合会事務局長として祝辞を述べることになった。参加者は文科省、高専機構及び高知高専卒の参議をはじめとして現役学生など若い人を中心に主催者発表で500名規模であった。

- ・連合会のホームページの運営

名称：全国高専同窓会連合会

(<http://kosen-dousoukai-rengoukai.net/>)

事務局報告に対する質疑

- ・コロナ禍があったにしても、会則にのっとって基本的な活動はするべきではなかったか。連合会の必要性を感じるだけに4年間のブランクは大きい。
高専制度に対する提言を会の目的の一つとして掲げているのだから連合会は何をするのかもっと真剣に考え協議してもらいたい。
- ・学校に提言するといっても同窓会として母校の現状を理解しているとは限らないので難しい面がある。
- ・連合会とし学習していくことと情報の共有化をすすめていく必要がある。
- ・佐世保高専での「ふるさと納税制度」を利用した学校支援の紹介などいくつかの学校の同窓会活動の報告があった。それら各同窓会の活動と連合会の関係をさらに明確化して活性化する必要がある。
- ・学校支援のあり方や方法は前向きな目標を持って進めていけば見つけることが出来る。

等々活発な指摘と提案がなされた。それらを今後事務局で検討しできることから実現していくこととした。

② 会計報告

朝永より2019年10月1日～2023年9月30日間の連合会の会計報告を行った。その内容について会計監事の有明高専有友倶楽部会長・岡氏より監査報告があった。

また、同監事の徳山高専高城会会長・川村氏より、4年間全体での通帳残高などの整合性は確認できたが、会計処理上の帳簿や領収書の保管提示など改善の必要があるとのコメントが提出され読み上げられた。

事務局として今後の処理・管理に生かしていく。

③ 活動計画

- ・ 役員の変更について

現幹事の富山高専本郷キャンパスほんごう会の石山氏が会長を辞任されたことにより交代することになった。後任は人選中であるが早急に決定次第報告する。

- ・ 顧問の新設について

今後機構などとの話し合いなどを実現するにあたって経験豊かな方を顧問として迎え、さまざまなアドバイスを頂きたいという趣旨から、顧問の新設を提案した。具体的な人選として、連合会立ち上げ時にも協力頂き、高専機構にも在籍したことのある現都城高専校長の田村先生に打診をして快諾を得ている。

(拍手により諒承された)

- ・ 高専人会への対応について

会の趣旨に則って、連合会としての参加はしない。ただし、個人としての参加は勧めるし、情報交換などの連携はしていく。

- ・ 参加同窓会の拡大について

今回もオブザーバとして多くの同窓会に参加頂いた。今後とも全同窓会に情報提供を進めながら積極的に参加の働きかけを行っていく。

- ・ 高専機構との連携について

連合会の目的の一つでもあるので今後とも密に連携を図っていく。まずは先に計画して出来なかった話し合いの場をできるだけ早急に実現したい。

④ その他

議事のなかでも質問があった連合会の会費納入の件で、会員に迷惑をかけている点について朝永から事情の説明をした。4年間事務局の作業が滞ったことによって会費の納入状況がバラバラになっていることを解消するために、早急に各会員同窓会に請求書を送付して納入をお願いするのでご協力をお願いする。

6, 閉会挨拶

7, 写真撮影の後会場を移して懇親会

担当：有明高専有友倶楽部顧問・原田

以上

令和5年12月5日
全国高専同窓会連合会事務局

代表幹事 佐世保高専同窓会

参加同窓会

旭川高専同窓会 (鶴岡高専同窓会峰友会) 東京高専 (長野高専同窓会)
石川高専同窓会 (沼津高専同窓会) (福井高専同窓会)
(米子高専同窓会) (松江高専同窓会) 広島商船高専校友会
(呉高専同窓会) 徳山高専同窓会高城会 阿南高専同窓会悠久同窓会
高知高専校友会 有明高専同窓会有友倶楽部 北九州高専同窓会雄志会
佐世保高専同窓会 大分高専同窓会明愛会
(富山高専本郷キャンパスほんごう会 1 名 、富山高専元教員 1 名)

* () はオブザーバー参加および個人参加

連合会役員

連合会顧問：都城高専校長 田村隆弘

連合会会長：旭川高専同窓会顧問 村上孝志

副会長：広島商船高専校友会会長 望月正信

々 : 大分高専同窓会明愛会顧問 青木繁美

理 事：高知高専校友会会長 久保英明

々 : 佐世保高専同窓会会長 友廣啓二

々 : (人選中)

監 事：徳山高専同窓会高城会会長 川村宗弘

々 : 有明高専同窓会有友倶楽部会長 岡秀昭

事務局長：佐世保高専同窓会幹事 朝永憲法